

平成 20（2008）年度  
「大気概論」

問1 大気の汚染に係る環境上の条件に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) 環境基準は、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準である。
- (2) 環境基準は、現在、光化学オキシダントなど 9 物質について定められている。
- (3) 環境基準の達成期間は、すべての物質について 5 年以内と定められている。
- (4) 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については、適用しない。
- (5) 環境基準は、工場や事業場から大気中に排出される汚染物質の排出基準とは異なる性質の基準である。

（誤問の内容）

選択肢(2)の「環境基準は、現在、光化学オキシダントなど 9 物質について定められている。」は、環境基本法で定められた大気汚染に係わる環境基準に基づいて出題したが、ダイオキシン類特別措置法においても、ダイオキシン類の大気汚染に係わる環境基準が定められている。

このダイオキシン類の環境基準を加えると、「10 物質」となり、設問の「大気汚染に係る環境上の条件に関する記述」という観点では、「10 物質」と捉えることが妥当と判断し、選択肢(2)も誤りの記述となる。

（措置）

誤りの選択肢を選ばせる問題で、本来の正解（誤り）は選択肢（3）であるが、選択肢（2）も正解（誤り）とし、選択肢（3）及び（2）の解答を正解とする。